

医学部看護学科のアウトカム

ディプロマ・ポリシー項目	医学部看護学科のアウトカム (2023年12月25日教育研究評議会承認)
1. プロフェッショナリズム	A. プロフェッショナリズム 1. 豊かな教養と確固たる倫理観を身につけ、利他的かつ公正な態度で行動できる。 2. 人々の持つ多様な価値観や立場を尊重できる。 3. 看護専門職者としての役割と責任を理解し遂行できる。 4. 医療・看護学における倫理的課題を説明できる。
2. 看護学の知識と技術	B. 看護学の知識と技術 臨床や研究に活用するために以下の領域の知識と技術を修得している。 1. 人体の構造と機能 2. 疾病の成立と回復の促進 3. 健康支援と社会保障制度 4. 疫学、保健統計 5. 看護基本技術 6. 生殖年齢・周産期にある人々に対する看護実践 7. 小児期にある人々に対する看護実践 8. 成人期にある人々に対する看護実践 9. 老年期にある人々に対する看護実践 10. 健康の段階に応じた看護実践(予防、急性期、回復期、慢性期) 11. 心のケアが必要な人々への看護実践 12. 地域包括ケアに関する看護実践
3. 課題対応能力と看護実践能力	C. 課題対応能力と看護実践能力 1. 看護に必要な対象者の情報を収集・統合し、アセスメントできる。 2. アセスメントの結果から、根拠に基づいた看護計画が立案できる。 3. 修得した知識・技術を活用して看護を実践できる。 4. 観察・実施した看護を評価し、適切に記録できる。 5. 看護実践において、感染防止対策や安全なケア環境を整備できる。
4. コミュニケーションと多職種連携	D. コミュニケーションと多職種連携 1. 対象者・家族の言葉を傾聴し、共感することにより、良好な関係を築くことができる。 2. 対象者に対して、適切な言葉遣いができる。 3. 多職種連携における看護専門職者の多様な役割について説明できる。 4. 医療チームのスタッフを尊重することにより、良好な関係を築くことができる。 5. 医療チームのスタッフに対し、適切に報告・連絡・相談ができる。
5. 地域医療への貢献	E. 地域医療への貢献 1. 社会保障制度・地域包括ケアについて説明できる。 2. 地域包括ケアにおける看護の役割について説明できる。 3. 保健・医療・福祉に関する地域の課題を把握し、解決するための理論・方法について説明できる。 4. 地域住民に対する健康増進、疾病予防、安全確保のための活動に積極的に参加できる。
6. 科学的探求心と国際的視野	F. 科学的探求心と国際的視野 1. 看護学上の疑問・関心に基づいて、研究課題を見出すことができる。 2. 看護学研究に必要な国内外の情報を取得することができる。 3. 看護学研究で用いられる基本的研究手法が実施できる。 4. 自らの研究内容をわかりやすくプレゼンテーションできる。 5. 国際的視野を持って、看護学に関する課題について考察できる。 6. 研究倫理を理解したうえで、研究を実施できる。
7. 情報・科学技術の活用	G. 情報・科学技術の活用 1. 個人情報や情報セキュリティに関する法令を遵守し、臨床や研究の場で活用できる。 2. コンピュータを用いてデータを分析し、問題の解決に役立てることができる。

	<ul style="list-style-type: none"> 3. 電子カルテの特性を踏まえて適切に活用できる。 4. 医療 AI (人工知能)の現状と課題を説明できる。
8. 生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢	<p>H. 生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 医療・医学・看護学の進歩に関心を持ち、生涯にわたって自律的に学び続けることができる。 2. 他の医療者と互いに教え、学びあうことができる。